



シンポジウム

成熟経済におけるケミカルシューズ業界の 新たな挑戦－震災復興の検証を踏まえて－

神戸の地場産業であるケミカルシューズ産業。阪神・淡路大震災では、同産業にたずさわる会社や工場が密集している長田区、須磨区も甚大な被害を受け、非常に大きな痛手を負いました。同様に東日本大震災によって宮城県東松島市の地場産業である漁業も甚大な被害を受けました。

シンポジウムでは、震災以降、両産業が歩んできた変遷を振り返るとともに、長田地域の経験を東松島市に発信し、まちの復興に果たす地場産業の役割について深め合います。また、ケミカルシューズ業界の現状をアンケートの結果から把握し、今後の課題と展望について、みなさんと一緒に検証したいと思います。

多数のご参加お待ちしております。

3/27(金)
参加無料

シンポジウム内容

○ケミカルシューズ業界のアンケート調査報告

○基調報告「震災以後の地場産業の歩み」

【阪神淡路大震災】新井康夫 日本ケミカルシューズ工業組合副理事長
(サンナイト(株)代表)

【東日本大震災】小野幸男 東松島市会議員、漁師(定置網漁)、

東松島の森保全の会副会長

○パネルディスカッション

※事前申込は不要。シンポジウムへのご質問等は、下記お問合せまで

- 日 時：2015年3月27日（金）18時
 - 場 所：準学校法人 兵庫韓国文化教育院
神戸市長田区西尻池町 2-4-30
JR「新長田駅」徒歩 10 分（右記参照）
 - 主 催：(一社) 在日韓国商工会議所 兵庫
*主管) 戰略研究特別委員会
 - 協 力：日本ケミカルシューズ工業組合、東松島市
- <お申込・お問合せ>
(一社)在日韓国商工会議所 兵庫 TEL)078-646-9611 E-mail) kim33@kccj.org



この事業は「阪神淡路20年事業」として、ひょうご安全の日推進県民会議の助成を受けて実施しています。